

はたらきかた 改革通信 2023

No. 3

長野県教育委員会義務教育課 発行
2023.7.28

事務室から始まる学校の働き方改革！

第2回働き方改革検討会議が、7月10日(月)にオンラインで開催されました。今回も、事務室の職員の働き方改革をテーマに、県内3つ、県外2つの学校の実践が話し合われました。以下にご紹介をします。皆さんが勤務している学校や自治体において、取り入れることができるかできないかだけでなく、先生方と話題にさせていただくだけでもよいと思います。そうした語らいの中から、何かしらの新たな動きが生まれてくれば、と願います。

ぜひ、各職場でも、どんな小さなことでも構いませんので、業務改善につながる取組をスタートさせてみませんか。

木曾町 学年費の一部公費化を実現！（日義小・中学校）

<実現までの経緯>

令和4年度、木曾町では保護者負担軽減のために児童生徒の給食費が10,000円減額となりました。そこで事務職員のA先生は、「もし今後も給食費を減額する予定があるのなら、まず先に学年費を公費化できないか」と町の教育委員会に相談しました。学年費を公費化することで、保護者負担軽減はもちろん、教職員の会計業務の負担軽減も図ることができると考えたからです。公費化要求のため、町内の会計担当者と事務職員にアンケートをとり、要望書を作成しました。

子育て支援に力を入れている町と、学年費公費化の目的は「保護者負担軽減」という点で一致していました。また、教職員の働き方改革についての町の理解や、これまでの教材の公費化要求の積み重ねもあり、令和5年度から、学年費の公費化が実現します。更に、町の意向で学年費に加え、修学旅行費の公費化も実現しました。

<学年費公費化のメリット>

(1) 保護者負担軽減

小学生には1年間で10,000円(6年間で60,000円)、中学生には1年間で20,000円(3年間で60,000円)計9年間で120,000円が予算化され、学年の必要な物品や消耗品の購入に充てられる。

(2) 教職員負担軽減

- ・ 教員(会計担当者)の会計業務の負担減
- ・ 事務職員の会計業務の負担減

(3) 業者の負担軽減

- ・ 学校の残高不足による支払い遅延がなくなる。
- ・ 現金でのやり取りがなくなる。
- ・ 領収書の発行が不要になる。

教員の声：
かなりの時間数が他の仕事に振り分けられ、本当に気が楽になりました。



保護者の声：
家庭への負担が少なくなります。町としての魅力の一つになります。

書きたくなる旅行命令票！（上田第二中学校）

<実現までの経緯>

事務室からは、いつも先生方に提出物のお願いをすることはばかり。特に旅行命令票では、提出期限が間に合わなかったり、記載内容に誤りや未記入があったりすることもしばしば。しかし、先生方は忙しく声をかけづらいなあ、と事務職員のBさんは思っていました。一方、先生方からは、「書類の形式が複雑でわかりづらい」「毎年書いているが書き方を忘れてしまう」などの声がよく聞かれました。作成者の視点でエクセルの様式を加工し、先生方ができるだけ短い時間で仕事を終わらせるようにできないものか、とBさんは考え、エクセル関数を駆使して、以下のような旅行命令票入力フォームを作成しました。職員からは、「便利!」「わかりやすい!」との声が聞かれ、仕事のモチベーションにもつながりました。仕事の方法や手順を変えることは、最初は大変でも、思い切って取組むことで、多少は時間がかかっても次第に慣れ、使いやすくなっていくと感じました。

③すべて入力し終わったら、印刷ボタンを押す。

①氏名を入力すると車のナンバーが表示される。

事務職員の声：他にも、作成者の視点に立って『公務使用自家用車届』『予算要望書』などについても入力フォームを作成しました。先生方から「使いやすい」「短時間で作成できて助かる」など好評を得ています。今後便利だと思うものは地区の事務研究会のホームページなどにも掲載し、事務職員同士でシェアできるようにしていきたいと思います。

ネットバンクを利用した学年会計（大町中学校）



<実現までの経緯>

大町中学校（前仁科台中学校）では、学年費の口座振替は行っていましたが、支払いは業者に来校してもらい、現金で渡していました。できるだけ現金を扱わないようにしたい、という願いが事務職員のC先生にはありました。そこで、もともと集金業務で利用していた郵便局に相談をしたところ、集金については「ゆうちょ biz ダイレクト」、支払いについては「ゆうちょダイレクト」を利用するとよいことがわかりました。保護者にはこれまでも郵便局の口座を開設してもらっていたので、保護者の手続きの負担はほとんどなく、スムーズに導入することができました。集金事務については前年度に行う新1年生の口座登録作業と、年度当初の振替データ入力に若干の手間がかかるが、エクセルで取り込むことができ慣れれば負担感は少ないです。

	使用目的	操作者	手数料	操作時間*
ゆうちょ biz ダイレクト	集金・返金業務	事務職員	集金1件につき10円 (自動払込:保護者負担) 返金1件につき66円 (総合振込:保護者負担)	例月1学年あたり5分程度(初月以外。前月データを利用することで非常に簡単)
ゆうちょダイレクト	支払い業務・残高確認	学年会計担当職員 ※実質教員業務支援員(大町市学校業務サポーター)	ゆうちょ口座への振込は月5件まで無料 ※ゆうちょ口座がない場合は手数料がかかっても振り込む場合あり	振込1件あたり5分程度 ※業者登録が可能で一度振り込んだことがあれば比較的容易

事務職員の声：「集金に関わる教員の負担は大幅に減りました。『ゆうちょ Biz ダイレクト』の操作以外の集金事務については業務支援員(大町市学校業務サポーター)に依頼し、業務の分担を図っています。」

教員の声：「払い戻し請求書を書くことがなくなり、会計業務の負担が大幅に減りました。また現金をほぼ扱わなくなり、その面でも安心です。業者への振込も業務支援員(大町市学校業務サポーター)の方がやってくれるので、ありがたいです。」